

ポルトガルの中心で

について



ポルトガルの中心で

「ポルトガルの中心」を見つけにきませんか。コースはちゃんと用意してあります。ポルトガルという国のアイデンティティが形作られたこの土地は、はるかな昔から、数々の歴史的イベントの舞台となり、さまざまな文化の出会いの場となりました。

これから提案する4つのコースには、ユネスコ(UNESCO)の世界遺産である、ポルトガルでも特に重要な3つの史跡が含まれます。アルコバッサ修道院 (Mosteiro de Alcobaça)、キリスト修道院 (Convento de Cristo)、バターリャ修道院 (Mosteiro da Batalha) です。この3つは、建国の歴史にまつわる数々の逸話にゆかりがあると同時に、さまざまな建築様式が融合した美しい建築物でもあります。なかでももっとも古いアルコバッサ修道院は、ポルトガル初代国王によって建造され、シトー派修道会の所有となっていました。この修道会は、ポルトガルの農業と文化の発展に中心的な役割を果たしました。そして、今なお Templar 騎士団の神秘的な雰囲気が色濃く残るキリスト修道院は、おなじく Templar 騎士団によって1160年に建設された城と肩を並べています。騎士団がアラブ人から領土を守り、土地を奪回、拡張する拠点として選んだのがトマル (Tomar) の地でした。そして後期ゴシック様式の傑作バターリャ修道院は、強大なカスティーリャ王国に対しポルトガルの独立を確たるものにした証人です。



しかし、これだけではまだまだこの地方をよく知ったことにはなりません。「 Templar騎士団の財宝」は、騎士道物語の愛好家には格好のコースです。まずは、Templar騎士団の神聖なる地理的中心、トマルからスタートです。このコースでは、Templar騎士団のシンボルをいくつも発見できますー入団の儀式の舞台となったサンタ・マリア・ド・オリヴァル教会 (Igreja de Santa Maria do Olival)、騎士たちがミサを聴聞したキリスト修道院のシャロラ (Charola)。かつての所領地をさまよい、テージョ川に浮かぶ島にたたずむ神秘的なアルモウロル城 (Castelo de Almourol) や、ドルネスの塔 (Torre de Dornes) を訪れましょう。往時の見張り台からは、今もすばらしい風景がのぞめます。



さまざまな伝説や神話、謎にいざなわれるままに「信仰の道」をたどれば、ファティマ (Fátima) にたどりつきます。ここは聖母マリア信仰の世界的聖地のひとつに数えられ、羊飼いの子供たちが聖母を目撃した場所にあります。しかし、聖母マリアの出現が記録されたのは、ここではありませんーナザレ (Nazaré) やポヴォア・デ・コス (Póvoa de Cós)、オルティガ (Ortiga) などに

も出現の記録が残されています。オビドス（Óbidos）の町では中世の風景に出会い、オウレン（Ourém）では、キリスト教徒の騎士に恋をし、ファティマからオウレアナと名を変えたモーロ人の王女の伝説に耳をかたむけてください。



海とセーラス・デ・アイル・イ・カンデエイロス自然公園（Parque Natural das Serras de Aire e Candeeiros）の間で「4元素」のパワーを感じとるーこれが、さらなるコースのテーマです。水、風、火、土がおりなす美しい風景のなかで、この星の初期の住人である恐竜の足跡にも出会えます。



「聖杯の探求」は、円卓の騎士による聖杯探求の物語にインスピレーションを得たコースであり、あなたの想像力にはひとつのチャレンジです。探求の旅の地図を、ポルトガルの中心に重ねてみてください。たちまちトマールは探求物語の英雄たちが集う場所に、トマールの城は新エルサレムの城に、シャロラはソロモンの神殿にはやがわりします。どうぞおすすめのコースをご自分のペースで

たどってみてください。きっと発見があるはずです。